とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	・人権基本方針において、基本的人権の尊重、差別を行わないことを定めている。 ・年に1回、全社員を対象とした人権研修を実施し、社員の人権尊重に対する意識向上を図っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	・就業規則において「ハラスメント行為の防止」を定めている。 ・ハラスメント相談窓口を設置し、社員が相談できる環境を整備。 ・ハラスメントガイドブックを作成し、社員に配布する事で、ハラスメントに対する社員の理解向上に努めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	・PCのログイン、ログオフの時間管理を実施し、長時間労働が発生しないよう管理者及び労働者本人が労働時間を確認できる体制を構築している。 ・ＰＣ操作時間の月間超過時間が一定の基準を超えている社員へ産業医面接または問診調査を実施し、長時間勤務による健康障害の発生防止に取組んでいる。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	・全社員を対象とした人権研修において、外国人労働者をテーマとした題材を扱い、異なるバックグランドを持つ仲間と共に働いていく中で必要となる配慮や人権について理解の向上を図っている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	・労働安全衛生法に基づき、事業場に衛生委員会を設置し、月１回健康障害の防止や健康の保持増進に関する事項を調査・審議を実施。 ・労働災害発生防止の観点から、職場巡視・リスクアセスメントを実施し、必要な職場環境整備を行っている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	・一次予防として、自己学習でのメンタルヘルスに関する学習の実施、階層別研修、労組・衛生委員会共催のメンタルヘルスセミナー、ストレスチェック等を実施し、セルフケア・ラインケアを推進。 ・健康管理センターと社員相談室に相談窓口を設け、メンタルヘルス相談やメンタル不調による休務者の復職支援を実施。			3														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・Ｄ＆Ｉ推進部署を設置し、多様な社員全員が活躍する会社の実現に向けて環境整備を行っている。 ・女性の活躍推進に積極的に取り組むため、女性社員に向けた研修・制度を充実させている。 （女性リーダースクール、女性マネジメントセミナー、メンター制度など） ・パラアスリート支援として、当社業務を行いながら競技に取組める環境整備を を行っている。 ・D&Iガイドブックを作成し、障害の有無にかかわらず、誰もが働きやすい職場環境の整備を進めている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	・アプリを活用し、社員一人ひとりが楽しみながら健康への関心を高め、健康増進や生活習慣改善に繋げられるよう、健康増進取組全体を「MS健康マイレージ」と称し、実施している。 ・具体的には、毎月の健康クイズや毎月の健康取組に参加することで、取組項目ごとにポイントが付与され、通年でポイントを貯めていく企画を実施。 ・貯めたポイントはアプリ上で確認でき、ポイントに応じて景品の抽選へ応募できる仕組みとしている。			3					8									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	・階層別研修や任意参加型の研修を開催し、社員の能力開発の場を設けている。 ・資格取得にあたり費用補助を実施し、社員のスキルアップを支援している。				4				8	9								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	・パート社員に長期勤続休暇及び出張休暇を新設し、法改正の主旨により即したものとなるよう見直しを行っている。 ・シニア社員に転任休暇、出張休暇を新設し、法改正の主旨により即したものとなるよう見直しを行っている。 ・パート社員及びシニア社員の欠勤期間を１か月から３か月に延長する変更を行い、法改正の主旨により即した　ものとなるよう見直しを行っている。								8.5		10.2 10.3							

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	・廃棄物処理に関するマニュアルを策定し、業者選定にあたっては各自治体の認可を受けた業者を選定し、定められた分別ルールにのっとり処理を行っている。											11.6	12.3 12.4 12.5		14.1			
12	環境	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	・自社のエネルギー使用量を毎年把握している。 ・MS&ADみんなの地球プロジェクトと称す取り組みを実施し、2020年度目標として電力1%削減、ガソリン10%削減の目標に向け取り組みを実施している。							7.3						13				
13	環境	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	・MS&ADグループ全体で主な温室効果ガスであるCO2の排出量削減目標（2009年度（基準年度）に対して2020年度に▲30%、2050年度に▲70%削減）を設定し、排出量を毎年把握している。 ・温室効果ガスの削減に向け、使用電力の削減に向けた、省エネ取組みを通年実施。 ・具体的には「執務室照明：50%消灯」「空調設定：冷房28度、暖房19度」「会社配備PCの省エネ対策」「カジュアルウェア着用」「消灯ルールの徹底」「上2階、下3階の階段移動」の実施を行っている。							7.2 7.3						12.4	13.3				
14	環境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	・本社ビルでは、生物多様性に配慮した緑地を整備し、ABINC認証制度等を取得している。 ・事業活動による生物多様性への影響を把握し、各部支店で年に1回は環境貢献活動を実施し、生物多様性を守る取組みを実施している。						6.6									15		
16	環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	・法定に基づいた管理を行い、効率改善に努めている。本社ビルと隣接する新館では、手洗い水や雨水をトイレの洗浄水や緑地への散水用として再利用している。						6.4 6.6											
17	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用	・環境ISO14001を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	環境	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用	・自社HPで環境への取組みに関する情報公開を行っている。 https://www.ms-ins.com/company/csr/environment/												12.6					
19	環境	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用	・再生可能エネルギーの普及支援のため、太陽光発電設備、風力発電設備向けの損害保険を販売している。 ・一部の自社ビルに太陽光パネルを設置し、再生エネルギーの活用を行っている。							7.2						13				
20	環境	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用	・環境基本方針において、主要課題として持続可能な資源の利用を掲げ、森林認証紙の利用推進等、各種取組を行っている。 ・一部の社員食堂においてサステナブルシーフード（持続可能な水産物）メニューを提供している。												12.2	13	14	15		
21	環境	【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	・事故車両の修理にあたり、リサイクル部品の活用を積極的にご案内し、環境保全とコスト削減に努めている。						6.3					11.6	12 12.5	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・公正な事業慣行に関する方針を定め、贈収賄禁止等、公正な事業慣行の遂行を図っている。 ・「コンプライアンスマニュアル」を整備し、研修や自己学習を通じて周知徹底を図っている。																16 16.5	
23	公正な事業慣行	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・公正な事業慣行に関する方針を定め、公正な事業慣行に関する管理態勢を整備し、公正な事業慣行の遂行を図っている。 ・行動憲章や社内規定において不正競争を行わないことを掲げ、社員研修や自己学習を通じて社員に対して周知徹底を図っている。																16	
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	・商標等の知的財産権の取得・管理を行っている。 ・商品開発時には、特許侵害調査を実施している。								8.2 8.3	9								

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	・個人情報の取り扱いに関するマニュアルを整備し、社員の自己学習を通じて周知徹底を図っている。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用	・規制対象となる紛争鉱物の業務利用はない。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用	・サービス調達等に関わるサプライヤーや代理店等のビジネスパートナー等の関係者に対して、事業活動において人権への負の影響が発生することを防止、軽減するように働きかけを行っている。 ・代理店や取引先企業における簡易版環境ISOである「エコアクション21」の認証の取得や、エコ整備の普及等、環境への配慮について協力を依頼している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	・お客さまへの商品販売を主に担う保険代理店に対して、品質認定制度を制定し、適切な情報提供と損害サポートを実施できる体制整備に取り組んでいる。			3.9									12.4					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	・お客さまからの声の対応をルール化するなど、商品・サービスの品質向上につながる仕組みを構築している ・お客さまアンケートを実施し、お客さまの満足度向上に向けた取り組みを実施している。									9								
30	製品・サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用	・再生可能エネルギーの普及推進に向け、太陽光パネル等を補償する保険商品の開発・販売を行っている。						6							12	13	14	15		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	・「レジリエントでサステナブルな社会」を目指して、MS&ADグループ全体で解決に貢献できる社会的課題を洗い出し、重点課題を特定して商品・サービスの開発・提供を行っている。 【例】あらたな社会問題となっているサイバーリスクに対応する保険商品を開発・販売、『ながら運転』防止支援サービス、「自然災害への備え」提案運動、ドローン（無人航空機）を活用した損害調査、高齢社会に対応した火災保険、再生可能エネルギー事業者向け補償、認知症条例と連動した事故救済制度の構築　等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	・各部支店で年1回の社会貢献活動を実施し、地域への貢献を実施している。				4					9		11	12		14	15		17
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	・各部支店で年1回の社会貢献活動を実施し、地域への貢献を実施している。 ・地域社会・国際社会の一員として、社員による主体的な環境保全活動や社会貢献活動を行っている。 【例】災害被災地への義援金寄付、東日本震災の復興支援を目的とした社内通信販売、各部支店での年1回の環境・貢献活動、table for twoプログラムへの参加、障がい者スポーツの支援、社員有志の社会貢献団体による活動				4							11			14	15		17
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用	・本社にて各地域の県産品の販売を行うマルシェを定期的に開催しており、地産外商に取組んでいる。								8	9		11	12	13				
35		【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		○		基本	・コンプライアンスに関するマニュアルを整備し、社員の自己学習及び研修を通じて、法令遵守の考え方の浸透を図っている。																16	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	・社内イントラネット及び社内放送にて、自社の経営理念や目標について共有を図っており、同時にSDGｓの取り組みについての浸透も図っている。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	・コンプライアンス基本方針及び「法令等遵守規程」に基づき、法令遵守が確実に行われるよう組織・体制を整備している。 ・コンプライアンス部及び内部監査部を設置し、定期的に社内各部署に対して法令が遵守されているか監査を実施している。																16	

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当 環境	社会	経済	期待レベル	具体的な取組（県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用	・総務部内に「地球環境・社会貢献室」を設置し、企業が社会及び環境に及ぼす影響について対応を行っている。																16	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用	・リスク管理基本方針においてリスク管理態勢整備、リスク管理プロセス等を定め、リスク管理を経営の最重要課題として取り組んでいる。 ・衛生委員会の設置、ストレスチェックの実施、長時間労働者の管理を行っており、労働環境に関するリスクの特定及び評価を行い、マネジメントする体制が構築されている。																16	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用	・災害発生時に社員が被災地に対して義援金を送る際、会社が社員の義援金と同額を支出するマッチングギフト取組み等を実施し、CSRの取組みを進めている。 ・森林再生と持続可能な地域社会の形成に向けて、2005年よりインドネシアにおいて熱帯林の修復・再生活動を行っている。お客さまが保険証券や約款をペーパーレス化した場合、選択件数に応じた金額をこれらの環境保護活動に寄付している。																16	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用	・お客さま、株主、代理店、取引先、社員、地域社会・国際社会等のステークホルダーの声をお聴きし、いただいた相談、要望、苦情、意見等を広く受け止め、品質向上に活かしている。 ・お客さまデスクの設置やアンケート等を実施し、自社活動のステークホルダーへの影響把握に努め、対応を行っている。 ・改善取組内容等はオフィシャルサイト上で公開している。 https://www.ms-ins.com/company/aboutus/trust/data/trust2020.pdf															16	17
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	・大規模災害に備え、BCPの策定を行い、本社所在地で大規模災害が発生し、本社が機能停止に陥った場合においても事業が継続できる体制を整備している。									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用	・ＭＳ＆ＡＤグループCEOの選解任及び後継者の育成を定めたサクセッションプランを策定し、グループの持続的成長と企業価値向上を目指す対策を行っている。 https://www.ms-ad-hd.com/ja/news/irnews/auto_20190520430515/pdfFile.pdf								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【次世代への教育】 SDGsの考え方や取組みを次世代に継承していく活動を行っている。				・インドネシアで地元小学生を対象とした環境教育プログラムを実施している。				4.1 4.7													
2	【地域との共生】 地域社会との共生に取組み、地域環境の保全活動を行っている。				・本店と本店新館に緑地を設け、地域の皆さまへ開放し、近隣の公園とつながるエコロジカルネットワークの形成に取組んでいる。															15.1 15.5		
3																						
4																						

【記載留意事項】
・ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングの整数はＳＤＧｓのゴール（例：７）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度　など）